

全 A ネット 就労支援セミナーin 静岡
～禍災を乗り越えて A 型事業所の未来～



令和 2 年（2020 年）10 月 17 日（土曜）10：00～16：00

昨年度より新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーが開催できずにいたが ZOOM（ウェビナー）と会場との同時開催（ハイブリット）ということで、慣れない運営ながら全 A ネット今年度第 1 回目のセミナーが静岡 A 型事業所連絡会設立発起人会の設営協力のもと、ヤマト福祉財団の助成を受けて静岡県静岡市にて開催され全国から約 120 名以上の参加があった。

冒頭に全 A ネット理事長 久保寺一男氏より、「With コロナ。今後の低成長時代をどう乗り越えていこうか、A 型の未来を考えたい」と挨拶され、続いて来賓挨拶、静岡県障がい者支援局 増田吉則局長より、「コロナの影響により障害者の雇用が難しくなっている中で社会福祉法人、NPO 法人、一般企業の 3 者の英知を集め、障害のある方々に生き生きと喜びも持って働ける環境の整備にご尽力に感謝したい。また静岡県でも『ふじのくに福産品（授産品）』の購入を促す『1 人 1 品運動』を行なっている。オリンピック、パラリンピックは一年延期となったが、機運を盛り上げるとともに受け入れの万全の体制を取っているので静岡に来ていただき一緒に盛り上げていただきたい。今回、静岡でセミナーが開催され、障害の有無に関わらず共生社会の実現に寄与するものとして、心強く大きな期待をしている」と激励の挨拶がされた。

◆行政説明

厚労省就労支援専門官 井上量氏より「今年度の A 型事業所の経営支援策と次期報酬改定について」をテーマに A 型の現状から障害者の就労支援を取り巻く状況や新型コロナウイルス感染症の影響や行政からの支援策について説明がなされ、私見としながらも専門官から、「就労継続支援 A 型事業は課題も抱えていながら障害者の働く場として就職の 2 割が A 型事業所であり、就労支援をしながら雇用をするという難しい、意義が求められる事業と考えている。必要な評価軸を令和 3 年度報酬改定に組み込んでいけるのか、A 型の重要性や必要性を出していけるのか。質の高い A 型をどう盛り上げていけるかを考えているのが全 A ネットであり、賛同するところ。皆さんの意見をいただきながら一緒により良い A 型を考えていきたい」との言葉は我々 A 型の事業者にとって励みになったことと思う。

新型コロナウイルス感染症への対応に伴う就労系障害福祉サービスにおける柔軟な取り扱いでは、在宅支援の要件緩和がされており、基本報酬の算定区分の前前年度の平均労働時間を算定区分にすることが可能、自立支援給付費を賃金に充てることが可能、経営改善計画の算定猶予、暫定支給決定のアセスメントが対面以外も可能など状況に応じた柔軟な取り扱いが示されている。

これまで経験がしたことのない状況の中で、障害者の就労支援がどうあるべきか手探りながら行政の支援（助成金）もしっかり活用して事業の継続を図っていききたいと感じた。

また次期報酬体系については、検討段階であり確定的なことが申し上げられないがとの前提ながら、現状の平均労働時間を事業所の評価しているところ、多様な方が利用している現状から働き方の多様化もあり、雇用の質についても評価したい。生産性が高い事業を取り入れていることや、障害の特性から働きたくても短時間しか働けない精神障害の方の利用が増えていることや、キャリアアップの仕組みの有無、経営改善の状況の評価することが必要との厚労省報酬改定検討チームの意見を踏まえてスコア化した多角的な評価していく方針の報告がされた。詳細については時期的なこともあり、今回の講演では示されなかったが、年明け以降の周知を待ちたいと思う。



◆企業経営者からの講演

ヤマトホールディングス（株）取締役会長であり、（公益財団法人）ヤマト福祉財団 理事長 山内雅喜氏より、「コロナ禍におけるクロネコヤマトの『満足創造経営』」と題して講演を頂いた。ヤマト運輸の紹介からの経営のヒントとして、（故）小倉昌男氏のころに始まり、8つのヒントをもとに話しがあった。①自分たちの特長をわかりやすく伝える。（他との差別化をわかりやすい言葉にして伝えること）、②自分たちのお客様は誰かはっきりさせる。（宅急便でいうところのお客様は荷出し人ではなく、受け取る方であること）、③自分たちの「良い環境」を持つ。（良い循環が良い経営環境を生むこと）、④自分たちの他との違いをはっきりさせる。⑤自分たちのことを世の中に知ってもらう。⑥自分たちの存在価値を言えるようにする。（働く人のやりがいを考えること）、⑦お客様の声、社員（職員）の声を大切にする。⑧全員経営はやる気、喜びを生み出す。⑨共通の価値観（何を大切にするか）をみんなが持つ。ヤマト運輸の社員教育のための DVD 映像をご提供いただくなど、熱の入った山内氏の講演であった。『ご依頼主の利便性』⇒『受け取る側の利便性』に着想点を変えて、サービスを変化させることで売上（扱い荷量）を増やしていった企業の視点の経営の話は、A型事業所の経営でも生産活動がとても大事なことで参考になった。

「新しい物に対応していけるようにしていかなければいけないし、ヤマト福祉財団としても、皆さまが障害のある方が幸せになれるように努力していることに敬意を表したいし、一緒に生活してける社会を一緒に創っていきたい」との挨拶で講演は終了した。



◆「この春もがんばれた A 型の実践報告」と題して

株式会社富士山ドリームビレッジ（静岡）取締役 西舩亮貴氏の報告があった。

施設外の仕事がコロナの影響をうけて、企業から仕事量を減らして欲しいと突然に言われて対応に苦慮した話や売上が減った中でも障害者の仕事をどうしてくのか、地域とつながり、利用者と話し合いをしながら進めてきた実践の報告がなされ、「A 型事業所は、他施設とのつながりが持ちにくい事業。一つ一つが特別なビジネスモデルで手の内を探られないくないという事業所の都合がありつつも、だからこそ A 型事業所同士がつながって学び合っていくこと、刺激を与えあうことが必要ではないか」と提言された。

つづいての発表はリモートで合同会社ソルファコミュニティ（沖縄）代表社員 玉城卓氏の報告があった。農福連携でコロナに負けない事業づくりとのことで、農業と福祉の親和性を感じたことから事業を始めたとの話しに始まり、コロナによる自主休業するための対応（野菜の出荷が大変であった）話しや第一次産業の強み、感染リスクを理解し予防を徹底、小さなつながりの重要性の話がされた。

それぞれの事業や利用者の様子、コロナによる影響や今後の見通しなど、困難な状況の中でそれぞれの地域の人や団体とのつながりや、A 型の在り方を模索しながら頑張っている様子が伺えました。年明けの 1 月 23 日（土）では、沖縄県にて今年度第 2 回目となる全 A ネット就労支援セミナー in 沖縄が開催されるが、その前哨戦としてのご報告を頂きました。



◆優良 A 型事業所の認定証の交付

ヤマト福祉財団から助成を頂き認定委員会の審査のもと、全国から申請のあった事業所のうち16カ所に認定書（2019年度認定）の交付がされました。**認定委員長 岩田克彦氏**より、「A型事業所へ厳しい目が向けられている中、社会的評価に耐えうる認定制度を早期に確立し、認定事業所が増えることでA型事業者が自らの改善に取り組むようになると良い。この認定書が広く社会に認知をされ、認定価値を見出されることで良きA型が増えることを期待したい」と説明がされ、受賞された16の事業所の紹介がされた。

会場参加の「**NPO 法人こむの事業所**」**森藤聖一氏**に16事業所を代表して認定証が授与された。「11年前3名からスタートして、A型になり、ちょうど10年になる。最初5年間はサービスの提供をしていないという批判をうけた。そうではなく一緒に働くのだという覚悟で取り組んできて、ようやく周りに認められるようになった。感謝するとともに認定に恥じないよう3年間さらなる評価を受けられるように取り組みたい」と話しをいただき、リモート参加の4つの事業所、「佐世保自立支援センターチャレンジ」村上論氏、「株式会社 With You」小林俊介氏、「ロイヤルウォッシュ」宮迫氏、「株式会社スタジオクロム」鬼塚慎一氏より、それぞれ一言受賞の感想を述べられ、**全Aネット副理事長 加藤裕二氏**より「全国にA型が広がる中で悪しきA型のイメージが広がってしまったが、認定にメリットがあると思えるような制度にしていきたい」と講評があった。以降も引き続き認定事業は継続するので、良い事業所の指標の一つとして取得を目指してみてもはどうだろうか。

◆就労支援事業の仕事紹介プレゼン

今回のコロナに限らず、就労支援事業に悩んでいる事業所向けに売上や利用者のマッチングに悩んでいる事業所の一助になるように2つの事業所から事業紹介がされた。



★VALT JAPAN 株式会社 ディレクター 岡野菜摘氏

BPO（※Business Process Outsourcing=業務委託のこと）



★株式会社ジルベルト 代表取締役 福士裕士氏

FC（※franchise=加盟店・フランチャイジーの説明）

閉会の挨拶は、**静岡 A 型事業所連絡会設立発起人会 伏見修氏**より

「心に残る良い講演を聞くことができた。A 型事業は運営が難しいと思っている。経済感覚と道徳感覚の 2 つをバランスよく持って高いレベルで持たないといけないからであり、その難しさにより A 型が増えていかない理由になっている。事業を行なっている私たちの声をまとめて社会に発信していくのが全 A ネットの役割であり静岡でも A 型事業所協議会を立ち上げていきたいと思っている。コロナの影響が続くなかで、今日のヒントと情熱をもとに勝ち抜いていきましょう」と熱い言葉で締められ、全 A ネット就労支援セミナー in 静岡は閉会した。

次回、来年 1 月 23 日（土）今年度セミナー 2 回目は「就労支援セミナー in 沖縄」です。沖縄も A 型事業所の連絡協議会準備委員会が中心となって、設営に向けた準備を進めています。是非ともご参加、宜しくお願い致します。

全 A ネット事務局員
臼井 崇晃